

IKI IKI

いきいき
2024

Vol.7

街、いきいき。

人、ふれあい、

これまでも、これからも
あなたにエールを送ります。



P02	ごあいさつ 情報誌「IKIKI Vol.7」発刊にあたって
P04-P05	次の100年への 新たな一歩 スタート
P06-P07	鹿児島信用金庫 次の100年に向けて ——鹿児島信用金庫 理事長 市川博海 鹿児島信用金庫最重点基本方針 4本の柱 お客様のために。地域のために。鹿信のために。そして、職員のために。
P08-P11	鹿児島信用金庫創立100周年記念式典・祝賀会 ・理事長挨拶 ・たくさんの方々からの祝辞
P12-P13	創立100周年お祝いの言葉
P14-P15	かしん100周年記念事業チャリティー演奏会 歴史ある鹿児島信用金庫吹奏楽部 — 音楽を通して地域貢献 かしんハッピー会より『新ブレザー』贈呈
P16-P17	かしんハッピー会連合会 60周年 かしんハッピー会の歴史／60周年記念式典・祝賀会
P18-P19	かしんKYC会 50周年 かしんKYC会の活動／10年間の歩み
P20-P21	「かしんの杜」事業とSDGsの取組み／女性活躍のための取組み かしんのNew Face
P22-P23	「かしんの杜」かしんの地域貢献活動
P24-P25	かしんNEWS ・かしんレディース会 ・New Open ・組織が新しくなりました ・ビジネスカジュアルの導入 ・かしんのインスタ、LINE
P26-P27	かしんのサービス紹介



理事長 市川 博海

情報誌「IKIKI Vol.7」発刊にあたって

皆様には、平素より鹿児島信用金庫の業務運営に対して格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、鹿児島県内の金融・経済情勢は、新型コロナウイルス5類移行によりアフターコロナ期に入り経済活動の再開が期待されるなか、原材料価格高騰やそれに伴う物価上昇、中小企業の後継者問題、従業員の人手不足等も重なり依然として厳しい状況であると考えております。

このような環境に対応すべく、当金庫においては昨年度、最重点基本方針を改訂し、これまでの「取引先に対する伴走的なサポートの徹底」、「地域貢献のさらなる進化（かしんの杜の充実強化）」、「収益力向上のための成長戦略」に加え、4つ目の柱となる「仕事のやりがいを実感できる人財」育成と組織風土の改革」を制定いたしました。地域経済発展の原動力となるのは金庫職員一人一人の行動であり、職員の幸福度を向上させることが地域の人々を支え幸せにする原動力となるため、職員・地域のすべての人の成長と幸せのために伴走的支持を徹底し地域が抱える課題解決に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

当金庫は令和4年10月1日に創立100周年を迎えました。今回発刊となりました「情報誌IKIKI Vol.7」では、100周年という大きな節目を迎えたことと、100周年事業として開催した事業報告とともに、次の100周年へ「想いをつなぐ」をテーマとし掲載しております。会員の皆様や企業を経営する多くの方々にご覧いただき、これまでの鹿児島信用金庫の歴史を振り返るとともに、これからの未来に向けて決意を斟酌していただけると幸いです。

結びに、現在、金融機関は新たな局面を迎え、変革する過渡期を迎えております。当金庫もコロナ禍で大きく変化した社会環境に対応出来るように本部組織を再編し、業務の更なる効率化、お客様・営業店をサポートする体制を強化しました。今後も地元へ愛され期待される金融機関として努力し続けていく所存でございますので、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年4月

理事長 市川 博海

次の100年への 新たな一歩。 スタート

鹿児島信用金庫は、令和4年10月1日に、
創立100周年を迎えました。

そして、次の100年へ向けて新たな1年をスタートしました。

鹿児島の地域の皆様と共に歩んだ100年。

鹿児島の地域に根ざす中小企業のお取引先様と歩んだ100年。

また、先人達が創りあげ、つないできた100年。

たくさんの地域とのご縁と結ばれてきた「想い」の中で、

鹿児島信用金庫はこれまで以上に、地域とのつながりを大切にし、

次の100年へ向けて「想い」をつないで、

鹿児島の地域に根ざす金融機関として歩んでまいります。

つぎの未来へ 一歩ずつ。

私たちができること。

それは、このまちの一人ひとりの熱意や想いに

しっかりと向き合って、ともに歩むこと。

未来への種がふるさとに根を張り、

大きく育つそのときまで、ずっとそばで支えつづけます。



鹿児島信用金庫 次の100年へ向けて

苦難を乗り越えた 歴史を振り返る

100周年を迎え振り返ってみると、創立の時も苦しかったはずですが、一番苦しかったのは戦時中でしょう。昭和20年6月17日の鹿児島大空襲で、鹿児島信用組合は本所と高見馬場、武町、武之橋各支店の4店舗全て焼失しました。それでも職員は事業を続けなければと、本所の隣にあった帝国銀行鹿児島支店の一角を借りて仕事をしました。8月1日には空襲が激しくなり、冷水町の防空壕を使って事業を継続しています。われわれの先輩方は、創業時や戦時中の大変苦しい時代にも県民のために一生懸命になって事業をつないできたことに感謝を受けます。

紫原の研修センターの中庭に1,000人を超える先輩方の霊を祀っている慰霊碑が建っています。毎年10月1日の創立記念日には役員が参加し、遺族の方にお声がけして慰霊祭を執り行っています。第1回の慰霊祭は昭和48年に開かれました。民間企



経歴

鹿児島信用金庫 理事長
市川 博海

昭和60年4月	鹿児島信用金庫 入庫
平成19年3月	寿支店支店長
平成21年3月	業務統括部 主任調査役
平成24年2月	業務統括部 部次長
平成27年2月	総合企画部 部長
平成27年6月	業務執行役員 総合企画部 部長
平成28年6月	常勤理事就任 (総合企画部長を委嘱)
平成30年6月	常勤理事 (業務統括部長兼地方創生担当 兼かしんビジネスサービス(株)部長委嘱)
令和元年6月	常務理事就任 (総合企画部・業務統括部・ 営業統括部担当役員兼業務統括部長・ 地方創生担当委嘱)
令和元年10月	常務理事 (業務統括部・営業統括部担当役員 兼業務統括部長・地方創生担当委嘱)
令和2年6月	常務理事 (業務統括部・営業統括部・ 地方創生担当役員)
令和3年6月	常務理事 (総合企画部・融資部・ 企業サポート部担当役員)
令和5年6月	理事長就任

業で慰霊碑を建てて慰霊祭を行っている数は少ないようです。この100年をつないできた方々への感謝の気持ちは忘れてはいけな
いと思っています。100年が経過しても終始
一貫して忘れてならないのは、信用金庫は
「すその金融」だということです。桜島が
秀麗で美しい形をしているのは、すそ野が
広く長いことによって山頂まできれいな稜
線を描いているからだと思っています。鹿児島
の経済を桜島に例えると山頂を支えている
のは数多くの中小企業です。その中小企業

昨今の経済情勢の 中で鹿信としての 存在意義を

令和2年春から続いた新型コロナウイルス
感染症が令和5年5月から5類に移行し、

引先が少なくなるということで大変な危機
感を持っています。創業や事業継続・事業
承継にも力を入れなければなりません。中
小零細企業に寄り添った伴走的サポートに
今後さらに努めていく必要があります。

地域貢献と 地球規模の 課題解決に向けて

創立90周年を迎えた平成23年、当時の中
候義公事務理事（前理事長）が考えたのが
「かしんの杜」です。鹿信としてだけでは
なく、職員の中でも地域貢献活動をやっ
ている人が多くいるが、これを事業としてま
とめられないかと総合企画部長をしていた
私に相談がありました。これをきっかけに
「かしんの杜」をつくり、大きな幹から枝
が伸びるように「経営」・「音楽」・「スポー
ツ」・「緑」・「地域」の各杜をつくりました。
体系化することで、枝に葉が茂るように活
動内容や参加者が広がっています。

例えば、人口減少や若者人口の流出が言
われますが、スポーツの杜では、サッカー
や軟式野球、ソフトボールなど子どもたち
の大会を開催したり、教育の杜では、自然
ふれあい教室やプログラミング大会などを
通じて子育て支援に取組んでいます。小学
校6年生の時にサッカー大会に参加した新

次の100年。 期待とビジョン。

卒者が鹿児島信用金庫で働きたいとい
うことで入庫したケースも出てきています。地
元に残って、地元で働く若者が増えること
は喜ばしいことです。
信用金庫は、地元で集めた預金を地元だ
けに融資を行い、経済の血液であるお金を
積極的に回すというのが仕事ですので、
とにかく地域のために働くことが大切です。
そんな考えから発足した「かしんの杜」も
10年経ち、7つの枝となって今成長の途中で、
これからも大樹となることを目指して地域
に貢献していきたいと考えています。

地球規模の課題解決のためにある
SDGs（持続可能な開発目標）について
も、日頃の業務や「かしんの杜」などを通
じて取組んでいくことと重なりますが、私
共も鹿児島市と鹿児島県のSDGsの登録
を行い、見える化しました。登録には大変
な作業が必要です。SDGsの取組みを取
引先と一緒にやっているという、令和4年末
から5年1月にかけて行われた第1回の県
の登録の際は、私ども職員がお手伝いさ
せていただきました。手を挙げた取引先190社
程を訪問して聞き取り調査を行い、最終的
に準備ができた企業13社全部が県の登録を
受けることができました。取引先は、われ
われの家族という考えで、社会貢献活動や
環境問題への活動も一緒に取組んでいます。

信用金庫である限り「すその金融」をこ
れからも徹底するということに変わりはい
りません。これを経営のど真ん中に据えて
さまざまな取組みを進めていきます。その
ベースとなるのが平成29年に策定した鹿児
島信用金庫最重点基本方針です。その中に
3つの柱があり、私が令和5年6月に理事
長となって、新たに4つ目を追加しました。
この4本の柱に基づいてこれから業務運営
していきます。
まず1つ目は、お客さまのために伴走的
サポートを徹底します。支援はこれまで
やっていましたが、お客さまの目線に合わ
せることが大切です。ややもすると私ども
の提案・サービスがお客さまに必要ない、
必要なものとずれていることがあります。
す。もしかしたらお客さま自身が困り事
を分かっているケースもあります。お客さ
まと目線を合わせて企業を知り、人を知る
ことから始め、困り事を的確に捉えてサ
ポートすることです。われわれの存在意義は
もっと高まってきます。キャッシュレス化
の時代にわれわれはコンサルティングが大
事な仕事になってきます。そのためには職
員の質を高めないといけません。

きない地域貢献を行うために「かしんの杜」
の活動を充実していきます。経営の杜をは
じめ、教育、スポーツ、音楽、文化など地
域貢献活動の中でまんべんなく地域の皆さ
ま方を支援していきます。

3つ目は、鹿信のために。取引先、地域
のために活動するにあたっては、鹿信の経
営基盤が収益をきちんと確保して安定した
ものでなければ、十分な支援、サポートは
できません。職員の安定した生活のため
にも重要です。平成23年にスタートした経営
合理化計画は既に5次まで進み、これから
第6次計画が始まります。働き方改革や事
務処理、店舗戦略などさまざまな点で改善
を図っていきます。

以上の3つの柱に、私が4つ目として付
け加えたのが、職員のために、です。仕事
のやりがいを実感できる人、財育成と組
織風土改革ということで、職員は金庫の成
長のために、金庫は職員の成長のために、
お互いに努力しようということです。どの
職員も採用試験を受ける時は高い志を持っ
て入ってきます。その初心を退職するまで
大事にして、時には振り返って、足りない
ところがあれば自己研鑽する。職場は職員
にとって、やりがいのある職場環境をつく
り、職員と職場との共同作業で鹿児島の経
済を支えるお手伝いをしていきたいと考え
ています。

2つ目は、地域のために。当金庫しかで

理事長挨拶より

たくさんの感謝を胸に
次の100年も地域に貢献し
皆様と共に歩み続けます

当金庫は大正11年10月1日に設立され、100年という長い時を経て、現在もこうして堅実な業務運営が継続できていることは、総代・ハッピー会員を始めとしてお取引先の皆様のご支援の賜物であり、これまで金庫を支えてくださった諸先輩方、また苦楽を共にして働く役職員の皆さんの日頃の弛まぬ努力の積み重ねであると、深く感謝し御礼申し上げます。

創業以来、金融恐慌、太平洋戦争、戦後の復興、高度経済成長、バブル経済とその崩壊や、デフレ経済など、決して平坦な道のりではなく、幾多の試



鹿児島信用金庫 理事長
市川 博海

練にさらされながらも相互扶助、共存共栄の経営理念を掲げ、皆様からは惜しみないご尽力を頂きましたことにより、業績は順調に推移する一方で、地域貢献活動の分野においても、昭和10年から活動が続ける吹奏楽部の福祉施設への慰問や、チャリティーコンサート開催などの社会貢献活動が認められ、平成10年には、第一回全国信用金庫社会貢献賞を拝受し、令和7年には創部90周年を迎えるなど、数多くの職員が献身的な地域貢献活動に参加して参りました。これらを受け、平成23年、創立90周年記念事業として、地域との繋がりを強化すると共に、当金庫の地域貢献活動を深く理解して頂くことを目的としました「かしの杜」事業を立ち上げました。

この10年間の「かしの杜」の活動を振り返りますと、信用金庫の本業である中小企業をサポートする「経営の杜」では、かしん経営大学を始め、各種セミナーを通じて、お取引先様の経営戦略の立案や企業の成長・発展を目指す人材育成活動に取組みました。

さらに、令和元年には新たな経営課題の解決を目指し、I・Tを活用した、経営刷新をサポートする「I・Tの杜」を新設し、専門家と連携してI・T化のサポートに取り組んでおります。

地域の宝である子供の健全育成を目的とした「教育の杜」では、金融教育を自然との関わりを体験できる自然ふれあい教室を開催し、「スポーツの杜」では、小学生を対象にしたサッカー・剣道・ソフトボールなどのスポーツ大会を開催し、選手相互の親睦と技能向上にも努めています。このほか、吹奏楽部の音楽活動など「音楽の杜」によるボランティア活動も高い評価を頂いております。

環境問題にもいち早く取組み「緑の杜」で、森づくり活動に取組み、この10年でCO₂を188トン削減したとの認証を鹿児島県より拝受しております。

このように、当金庫は本業の金融仲介機能はもとより、中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄、地域文化の発展に役立つ金融機関として地域に尽くし、次の百年もとことん地域と共に歩む所存でございます。

結びに、地元鹿児島の発展と末永い繁栄を、また皆様方のご健勝とご多幸を祈念致すと共に、鹿児島信用金庫への変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。式辞とさせていただきます。

鹿児島信用金庫創立100周年記念式典



おかげさまで、100周年
このまちと、あなたと、ずっと。



創立100周年記念式典開催

鹿児島信用金庫100周年にあたり、令和5年10月14日（土）に城山ホテル鹿児島・エメラルドホールにて、創立100周年記念式典を開催致しました。

当金庫は、令和4年10月1日に100周年という大きな節目を迎えましたが、約4年前から見舞われたコロナの影響を受け、様々な事業や記念事業も延期せざるを得ない状況が続いておりました。

今まだコロナの影響が少なからず残る中ではございますが、昨年、国よりコロナの第5分類への移行が発表され、ようやく人の動き、日本並びに地域経済も動き出しつつあります。そういったコロナ以前の活動も戻りつつある中で、ようやく100周年記念式典を開催することができ、地域の皆様方、お取引先の皆様方にこうしてご報告できますことを大変嬉しく思います。

記念式典では、当金庫設立から今日に至るまでお世話になりました皆様、また所縁のある皆様、お取引先の皆様、また当金庫のOBの先輩方や職員などたくさんの方々にご参加いただき、100周年という記念すべき日を迎えたことを共有する有意義な日となりました。

鹿児島信用金庫創立100周年記念式典・祝賀会



■ 創立100周年を祝う鏡開き



乾杯の挨拶
鹿児島信用金庫 非常勤理事
小正 芳史



万歳三唱
かしんハッピー会連合会幹事
末重 堅司 様



■ 祝賀会の様子



■ かしん吹奏楽部による演奏



■ 当金庫職員 有田貴紀によるマジックショー



■ 燃ゆる感動かごしま国体
三段跳び 松下悠太郎選手

祝賀会 喜びを分かち合う

記念式典終了後、祝賀会を開催。はじめに、当金庫役員やかしんハッピー会連合会役員、またご来賓の代表者の皆様による鏡開きを皮切りに始まりました。100周年を祝うと共に、新たな次の100年へ向けたスタートを感じさせる鏡開きとなりました。

祝賀会になり、多くの参加された皆様から、それぞれの想いや当金庫へお祝いのお言葉をかけていただくなど改めて身の引き締まる機会となりました。

記念式典らしく 様々な催し物を開催

祝賀会では、令和5年に開催された「燃ゆる感動かごしま国体」で三段跳びに出場した当金庫職員・松下悠太郎選手より報告と御礼の挨拶。また、創立100周年ということもあり、様々な地域のイベントなど貢献活動をしている当金庫の歴史ある吹奏楽部の演奏、また、各支店のかしんハッピー会にも参加する当金庫職員である有田貴紀によるマジックショーなどを開催し、祝賀会に花を添えました。

たくさんの方々の祝辞
記念式典では、たくさんの方々に
祝辞をいただきました。



来賓スピーチ
株式会社ランドアート 会長
黒田 清忠 様



来賓祝辞
学校法人津曲学園 理事長
津曲 貞利 様



挨拶
かしんハッピー会連合会会長
中村 勝信 様



挨拶
かしん会会長
池田 穰 様

記念式典では、当金庫の100年の歴史をまとめた特別映像を上映しました。

鹿児島信用金庫は、大正11年に発足した鹿児島信用組合がその前身です。当時、零細商工者の取引の慣習は馴染みものではなく、故に中小零細商工者は庶民性を持った金融機関の出現を大いに期待していました。そうした背景の中、鹿児島信用組合は誕生。当時の組合員構成割合は商業者が多く、当時の貸付割合をみても、資産なき者、銀行より融資を得られない者にとって信用組合の出現が福音をもたらしたことは明らかでした。その後、柿本寺信用金庫との合併を経て、鹿児島信用金庫はその歩みをスタートしました。その後100年にわたり、当金庫は多くのお取引先様と共に、地域のための金融機関として成長してきました。そして今、地域貢献活動「かしんの杜」事業を体系化、また進化させ力を入れています。

記念上映では、設立時の歴史や想いから現在の当金庫の事業、地域貢献活動を改めて知っていたく機会となりました。

■ 鹿児島信用組合



■ 本店新築

■ 集合写真



■ 本店新築当時の店内



■ 100周年キービジュアル

■ 映像タイトル



■ 鹿児島信用金庫 本店（現在）

鹿児島信用金庫 創立100周年お祝いの言葉



信金中央金庫
南九州支店 鹿児島県分室
所長 青木 勝彦 様

このたび鹿児島信用金庫様が創立100周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

鹿児島信用金庫の前身である有限責任鹿児島信用組合は、1922年に中小商工業者の相互扶助を目的として設立されました。現在に至るまでには、金融恐慌や第二次世界大戦後の経済混乱、バブル経済の崩壊など、様々な困難が押し寄せましたが、鹿児島信用金庫は、一貫して相互扶助、中小企業への奉仕の理念のもと、地域経済の発展に尽くし、地域になくはならない金融機関として、経営基盤を確立されています。これもひとえに、多くの先人の方々と役職員の皆様が、地域金融機関の役割に真摯に向き合い業務に精励されたことと、お取引先の皆様の永年にわたるご支援によるものであり、ここに改めて深く敬意を表します。

最近では、地域経済の持続的成長の実現に向けて、地域金融機関には金融・非金融の両面から、地域やお取引先の課題解決を図っていくことが求められています。鹿児島信用金庫は、お取引先の資金繰り支援のみならず、「地域文化の発展に役立つ金融機関」との経営理念にありますように、「経営の杜」、「ITの杜」、「教育の杜」、「音楽の杜」、「スポーツの杜」、「緑の杜」、そして「地域の杜」という7つのカテゴリーからなる「かしの杜」の活動を通じて、地域の活性化に積極的に取り組んでいます。具体的には、鹿



かしんハッピー会連合会
会長 中村 勝信 様

鹿児島信用金庫様が創立100周年を迎えられましたこと、まことにおめでとうございます。これもひとえに市川理事長をはじめ、役員、職員の皆様方のたゆまぬご努力の成果とお慶び申し上げます。またすでに退職された元職員の方々のこれまでのご尽力も忘れてはなりません。

1922年（大正11年）10月1日に設立した有限責任鹿児島信用組合は、1951年（昭和26年）6月15日に信用金庫法が公布・施行されたことから鹿児島信用金庫と改めた訳ですが、皆様は信用金庫と銀行の違いをご存じでしょうか。銀行は、株式会社であり、株主の利益が優先されます。また、大企業を含む全国の企業等との取引が可能です。一方信用金庫は、地域の方々が利用者・会員となつて互いに地域の繁栄を図る「相互扶助」を目的とした協同組織の金融機関で、主な取引先は中小企業や個人です。利益第一主義ではなく会員すなわち地域社会の利益が優先されます。さらに、営業地域は一定の地域に限定されており、お預かりした資金はその地域での発展に生かされている点も銀行と大きく異なります。この「相互扶助」の精神こそが鹿児島信用金庫の源流をなすものであり、また銀行との決定的な違いであると思います。

そのような観点から生まれたのが「かしんハッピー会」であります。昭和38年11月に若手経営者の有志22名が将来の

鹿児島信用金庫では、お取引先に対する「伴走的なサポート」に注力し、DXを活用した業務効率化の支援や販路拡大支援など、地元中小企業の様々な経営課題に対して、その解決に向けた取り組みを行っています。

また、地域貢献活動では、私自身も、鹿児島信用金庫吹奏楽部がチャリティー演奏会を開催した際に、司会者として登壇させていただいたことがありました。が、鹿児島信用金庫の役職員の皆様、音楽を通じて地域の方々と笑顔にしていることを目の当たりにし、大変な感謝を受けました。そして、鹿児島信用金庫が、地域の皆様から愛されているということを改めて強く認識いたしました。

鹿児島信用金庫におかれましては、市川理事長の卓越したリーダーシップのもと、これからの役職員の皆様が一致団結し、地域と共に歩んでいけるものと確信しています。そして、私も信金中央金庫も、鹿児島信用金庫と使命を共有し、困難な課題にも力を合わせ、共に汗をかき、課題解決に取り組んで参ります。結びとなりますが、鹿児島信用金庫がこの輝かしい100周年という節目を新たなスタートとされ、次の100年に向けて更なる飛躍と発展を遂げられますことを心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

鹿児島の中核となるべく、また当金庫の強力な推進母体となるべく、お互いの研鑽努力を誓い合つて「かしんハッピー会」をスタートさせました。その後ハッピー会の様々な事業を行う中でその会員企業の事業発展を目指し交流を深める事により更なる事業発展を実現することで当金庫を支え続けて参りました。

また昭和49年には若手経営者を中心にした異業種交流の場であるKYC（鹿児島信用金庫青年クラブ）が発足、平成29年にはキャリアアップと輝きのある女性を目指すことを目的とした「かしんレディース会」が発足しました。このように鹿児島信用金庫と共に発展していくことを目的として結成されたお取引先の団体が複数あり、まさに「相互扶助」の精神を様々な活動を通して実践しております。

ハッピー会会員の中には「鹿児島信用金庫様に助けてもらった、助けてもらったのが今がある。ハッピー会に入会して金庫に恩返ししたい」という話をよく聞きます。かしんハッピー会の茶屋元会長は「ハッピー会はみな親戚である」というお話をよくされておりました。

今後ハッピー会のみならずKYC、レディース会、金庫の職員も含めてみな親戚であり続けたいと切に思います。昨今の地域経済は深刻な人手不足、物価高騰、円安など先の見えない厳しい状況が続いておりますが、このような時こそ金庫と取引先、いわゆる相互扶助の精神で乗り切っていければと思います。

最後に次の周年事業に向けて鹿児島信用金庫とお取引の企業様が益々ご発展することを祈念申し上げます。



KYC会
（鹿児島信用金庫青年クラブ）
会長 永田 晋平 様

鹿児島信用金庫様が100周年を迎えられたことに、心よりお祝いを申し上げます。KYC会（鹿児島信用金庫青年クラブ）を代表して、お祝いの言葉を述べさせていただきます。

めまぐるしく変化し続ける時代に、1世紀にも及ぶ長い歴史を積み重ねる事が出来たのは、歴代の理事長をはじめとする職員の皆様方の弛まぬ研鑽の賜物と、心より敬意を表します。

鹿児島信用金庫様は、地域社会全体の発展のために、お客さま本位の業務運営や様々な地域貢献活動、人材育成などを続けてこられました。

私も父から会社の社長というバトンを引き継いで、10年が過ぎましたが、就任前に参加したかしん経営大学では、これから各企業の経営を担う皆様との語らいに、経営者となる覚悟とたくさんさんの刺激を貰いました。

かしんハッピー会では、同じ地域で活躍している多くの先輩方から、自分が知らない多くの事を学ばせていただき、温かくて心強い激励も貰っています。

KYC会では、同年代の仲間達と「精一杯学び遊ぶ」活動を通して、色々な知識と、人生の宝物と思えるような出会いを貰っています。

経営者として、まだまだ未熟な部分を実感する事もありますが、鹿児島信用金庫様と与えて下さった多くの学びの機会や、これらの機会に出会った多くの皆様が、会



かしんレディース会
会長 前原 くるみ 様

鹿児島信用金庫様が100周年を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。

さて、私も前原総合医療病院グループもおかげさまで無事に50周年を迎えることができましたが、本当に貴金庫なくして今の私どもはなく、この度、お祝いの言葉を述べさせていただく光栄を賜りましたので、この場にて私の貴金庫への想いを語らせていただきたいと思います。

それは遡ること30年以上前のこととなります。先代（夫の父母）から「ゆのものと記念病院を継ぐこととなりましたが、私と夫は共に34歳の若輩者、経営を学ぶ間もなく法人運営の舵取りを任せられることとなりましたが、実際、当時の経営は火の車でした。

今でこそ経営者と医師の二足のワラジを履いている私ですが、その頃の私は医師として生涯を医業に捧げる覚悟を決め、いくら「我が病院」といえども一人の医師として働いており、経営にはほぼノータッチ。しかし、いざ経営者の立場となると現実は許してくれず、否応なく経営悪化と向き合わなければならなくなり、次第に倒産という未来が差し迫ってきました。そして、私の大奮闘劇はここから始まります。

まずは、都市銀行から地方銀行に至るまで手当たり次第に融資を申し込むのですが、見事に全て断られる始末ですが、今思うとそれは至極当然のことで、経営状況も悪い、実績もノウハウもない、具体的な改善策もない、数字もチンプンカンプン、医師

社を経営する上での大きな支えとなっております。

私事ではございますが、現在、居住する地域であいご会長を務めさせていただいております。同会は同地区に住む小学生の健全育成のための活動をしています。就任以来、子ども達が目標を達成させる成功体験を得られるように、ただ行事に参加するだけではなく、主体性を持って会や行事の運営に携わる体制を作れないかと試行錯誤してきました。

昨年末、地域で開催されたあるイベントに、協力依頼をいただきお手伝いをしたのですが、そのイベントの主体となっていたのが、地域に住む学生の皆さんでした。「コロナで団地の夏祭りも出来ない今、地元が盛り上がる楽しい事をしたい」代表者の方はこう話してくれました。彼らの熱い想いは、賑やかなイベントとして結実しました。

私があいご会長として抱えてきた「自分の想いを実現させた時の喜びを感じて欲しい」という願いは、彼らに直接的な影響を与えた訳ではありませんが、相手を想い、行動し続けていれば、こういう嬉しい場面に出会えるんだと、感動しました。

鹿児島信用金庫様とも、お互いがますます成長し続けるために「こうあってほしい」という想いをつなぎ合いたい、たくさん「嬉しい」を共感していきたいと願っております。

末筆ながら、地域に寄り添いお客様に実直に向き合う姿勢で、地域のお客様に愛され続けてきた鹿児島信用金庫様の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

免許しかない私に誰がお金を貸してくれたのでしょうか。もし私が銀行なら、絶対に私には貸しません。しかし、私には守らなければならない職員と家族がいます。夫はさておき、当時、息子は6歳、娘は1歳、大きくなった今でも、私のかけがえのない大切な子供たちです。私は薬をもつかむ思いで実の父に相談をしました。幸いにも父は呉服商で私はその娘、父は商売人のため融資交渉には長けており、事業計画書から交渉術に至るまでいろいろと教えてもらいましたが、最終的には私の「想いと熱意、そして根性」が肝要だと言われました。今でも覚えています。そして、私は鹿信さんに猛アタックをしたところ、私の意を酌んでくださり、デッドラインギリギリで資金調達が出来、それから常には私どものメインバンクとして事業拡大を支えていただき、今では日置市・鹿児島市・いちき串木野市に48事業、職員1,200名を有するグループとなることができました。

鹿信さんの経営理念に「中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため」皆様とともに成長・発展をめざします。」を掲げられていますが、まさにその通り、私同様に命を救われた企業は数多あり、これからは企業の成長を助け、地域が活性化するには必要不可欠な金融機関です。息子も私の後を継ぐべく修行中ですが、「恩・義理」の教訓として、私と鹿信さんのこの馴れ初めは息子に語り継いでまいります。

末筆ではございますが、今後も末永いお付き合いをよろしくお願い申し上げますとともに、貴金庫の益々の発展を心よりご祈念申し上げます。

当金庫の100周年は、多くの皆様の想いに繋がれてきた歴史でもあります。

今回は「想いをつなぐ」をテーマに、信用金庫の中央機関である信金中央金庫の

鹿児島県分室所長様、また当金庫のお取引様で成るかしんハッピー会、かしんKYC会、かしんレディース会の各会長様よりお祝いのお言葉をいただきました。

音楽を通して

「地域をつなぐ。人をつなぐ。」

鹿児島県初の職場吹奏楽団

歴史ある鹿児島信用金庫吹奏楽部

当金庫の前身である鹿児島信用購買利用組合の組合長であった黒田清次氏が、職場にクラブ活動を取り入れて、職場の士気向上と親和をはかり、企業の活性化を目指すために音楽隊をつくったのがはじまりです。

鹿児島県で初の職場吹奏楽団で、県内の音楽文化の草分けとして昭和10年に創部し、活動をスタートしました。

当時から地域イベントにも積極的に参加し、こうした社会貢献活動が企業ボランティアの先駆けとして広く知られるようになり、平成4年には、鹿児島県社会福祉協議会より「民間企業ボランティア活動モデル企業」の指定を受け活動の幅更に広

がり、平成6年には永年の社会貢献活動が認められ「鹿児島県知事賞」を受賞。平成7年には全国ボランティアフェスティバルにおいて「厚生大臣賞」を受賞しました。

更に、平成10年には鹿児島県内小学校3・4年生を対象としたボランティア活動の教材に、企業の代表としてビデオ出演。同年に、全国にある401の信用金庫の中から第1回「全国信用金庫社会貢献賞・奨励賞」を受賞致しました。当金庫の吹奏楽部は、長い歴史と共に地域への社会貢献活動を積極的に行っています。



contribution activities

かしん「音楽の杜」
音楽を通して、地域へ貢献

当金庫は、地域貢献活動を積極的に推進しており、各「杜」からなる「かしんの杜」として活動を行っています。

「音楽の杜」では、鹿児島の音楽文化の発展に寄与するための事業への協力を行っています。その中でも当金庫の吹奏楽部は、地域のイベントやチャリティー演奏会の開催など地域へ大きく貢献しています。



鹿児島信用金庫 吹奏楽部
部長
今門 志乃さん（伊集院支店 次長）

私たちは鹿児島信用金庫の職員として普段は業務を行いながら、休日に地域貢献活動として県内各地で行われるイベント、慰問演奏、チャリティー演奏会等で演奏を行っております。私たちの演奏で地域活性化に少しでも貢献出来たら、演奏を聞いて下さる皆様が笑顔になって頂けたら日々の練習に励んでおります。昨年度はかしんハッピー会連合会の会員様よりご厚志を頂き、ユニフォームを新調することが出来、部員一同感謝しております。来年で当吹奏楽部も創部90年を迎えます。これからも演奏を通じて地域貢献活動を行って参りますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

かしんハッピー会より新ブレザー贈呈

先日開催されたかしんハッピー会60周年記念式典にて、当金庫の吹奏楽部への活動に対し感謝をいただくと共に、記念として目録の贈呈を受けました。吹奏楽部にとって励みとなり、ブレザーを新調することとしました。来年度からより一層地域への貢献活動へ力を入れることができます。

鹿児島信用金庫吹奏楽部 チャリティー演奏会
創立100周年記念事業

創立100周年記念事業

記念すべきチャリティー演奏会

令和5年10月22日（日）に、鹿児島信用金庫創立100周年記念事業として、かしんチャリティー演奏会を川商ホール（鹿児島市民文化ホール）にて開催しました。今回のチャリティー演奏会では、100周年記念事業ということで、過去最高の1,000名を超える方々にご来場いただきました。

演奏会は、3ステージに分けられ当金庫吹奏楽部による三大行進曲にも数えられる旧友から始まりました。第2ステージでは、ソプラノ歌手の隈元奈津希様とピアニストの武田幸美様をお招きし、美女と野獣などたくさんの名曲を披露いただき大変好評でした。第3ステージは、吹奏楽部による演奏で子供か



ら大人まで盛りあがる幅広いプログラムとなっており、どのステージも音楽を楽しんでいただける素敵なステージとなりました。チャリティーということで、たくさんの方々から寄付にご協力をいただき、寄付金も過去最高額となりました。本当にありがとうございました。寄付金は、鹿児島県社会福祉協議会、かごしまどりの基金に寄付させていただきました。当金庫は、創立100周年を迎えた中で「かしん吹奏楽部」は、とても古い歴史があります。今後も「かしん音楽の杜」事業として、積極的に活動し地域への貢献を続けていきたいと思います。



記念講演

「明日を読む ～ 溢れる情報の海を切り切るには～」
元民放解説委員長／海洋冒険家 幸坊 治郎氏



祝辞

鹿児島信用金庫 理事長
市川 博海



挨拶

かしんハッピー会連合会 会長
中村 勝信 様



万歳三唱

かしんハッピー会連合会 監事
永留 博文 様



乾杯の挨拶

かしんハッピー会連合会 副会長
吉田 健朗 様



■ かしんハッピー会60周年を祝う鏡開き



■ 交流の様子



■ ステージショー



■ 祝賀会の様子

かしんハッピー会60周年記念式典

かしんハッピー会は、令和5年11月24日をもって60周年を迎えました。そこで、同日城山ホテル鹿児島にて記念講演・記念式典を開催致しました。当日は、当金庫の本支店それぞれに所属する多くのかしんハッピー会会員の皆さまにご出席いただきました。

記念講演では、幸坊治郎氏をお招きしご講演いただきました。たくさんの方々からご好評いただきました。式典は、かしんハッピー会連合会会長である中村会長よりかしんハッピー会の事業の報告や各会員への御礼などご挨拶をいただき、当金庫を代表し市川理事長より祝辞を述べさせて

いただきました。祝賀会は、かしんハッピー会連合会役員、当金庫役員やご来賓を含めた皆様による鏡開きで始まり、かしんハッピー会会員の皆さま、当金庫の役員を含め、多くの方々が60周年を祝い、交流を深めました。またフラダンスなどステージショーを催すなど式典を盛り上げ記念すべき日となりました。

かしんハッピー会は、当金庫と多くのお取引先さまと共に成長し、鹿児島島の経済の発展のために結成された会です。これからも時代を見据えた、かしんハッピー会ならではの事業運営を行って参ります。



かしんハッピー会連合会 60周年記念式典・祝賀会



昭和38年に有志22名からスタートしたかしんハッピー会も、60年という時が経ち

現在では1,360名(令和5年10月末時点)と多くの会員の皆さまがいます。

長い歴史の中で、当金庫と共に、多くの会員さまと築き、繋いできた60年。

これからも当金庫は、かしんハッピー会の皆さまと未来へ歩んで参ります。



かしんハッピー会の歴史

かしんハッピー会は昭和38年11月、当金庫の本店新築前に若手経営者による有志22名が将来の鹿児島の中核となるべく、かつ鹿信の強力な推進母体となるべく、お互いの研鑽努力を誓い合って発足したのがはじまりです。もちろん、この22名は当金庫の長年の取引者で、きわめて自然に強力な結合体となり、その後逐次会員の増加をはかり、39年4月には50名まで発展しました。50名の団体となると、そこには組織が必要であり、また目的、事業も明確なものが要請され、かくしてでき上がったのが会則です。

発足当時は全員横の連繋、親睦に重点が置かれていましたが、融和がはかれるに従って事業の内容が重視されるようになり、各研究会・ゲスト講演などを重ねて運営するようになりました。そして、会員の増加に伴い、業種も多岐にわたっていきます。その後、活動も各種専門的な研修、日本内外の情勢講演会、税・経理士による実務研修、従業員の接遇訓練、また自分の経営上の諸問題などお互いに研究テーマとして提示し検討するなど、その活動の幅はより深く広いものになっていきます。その事業は、60年経った今日に至るまで、時代の変化に合わせてながら脈々と受け継がれています。

40周年から10年間のあゆみ

50周年を迎えるかしんKYC会。40周年からの10年の主な活動をご紹介します。
KYC会では会員主体で、本会の目的に沿った活動を行っています。



40周年記念式典



KYCクリスマス会

45周年という節目に、普段支えてくれる家族への感謝も込めて会員の家族もお招きし交流会を行いました。



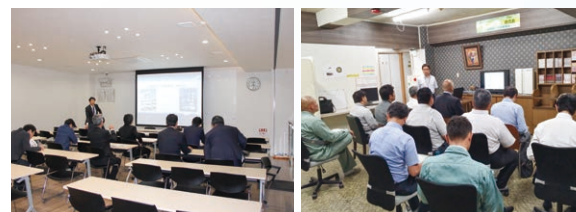
視察旅行

稲盛ライブラリー（京都）、国立競技場（東京）の視察などを行い、文化や教養、経営を学ぶ機会としました。

かしんKYC会 50周年祝賀会

かしんKYC会が本年50周年を迎えるにあたり、今年度に記念式典を開催する予定です。記念式典では、鹿児島信用金庫の役職員、並びにKYC会OBの皆様方にも多数ご参加頂きたく、現在会員で準備を進めています。

40



企業視察

会員企業を視察。
異業種を知りお互いに刺激を受ける機会となります。



月例研修会

経営者として必要な事業の知識はもちろんのこと、改めて健康やマナーについての研修も実施しました。



KYCチャリティーバザー

KYC会の地域貢献活動として、チャリティーバザーを実施。義援金として寄付を行いました。



月例研修会

鹿児島信用金庫・奥常務取締役をお招きし、「日本の財政問題をどう考えるか」というテーマで講演をして頂きました。

50

かしんKYC会

鹿児島信用金庫青年クラブ

50TH
YEARS
ANNIVERSARY

かしんKYC会は、次世代を担う若手経営者が研修や異業種交流をはかり、
企業の発展と地元鹿児島への貢献・地域発展を目的として活動しています。

かしんKYC会は、令和6年1月に50周年を迎えました。

昭和49年1月当時、鹿児島信用金庫の取引先で構成する若手経営者の

有志16人により結成。それから50年たくさんの先輩方の想いと共に繋いできた50年。

そして、かしんKYC会は、その想いと共に新たな未来へ歩み出します。

Activity content

活動内容

月例勉強会

月例会では、各月毎に講演や研修会・企業見学、会員や各団体等との交流を年度毎に計画し行っています。



企業視察見学

定期的に、会員企業や外部企業への視察・見学を行い、異業種からの学びやヒントを得る機会も作っています。



会員スピーチ

月例会で、自社の紹介や自己紹介、また近況報告など発表する機会をもうけ、若手経営者として成長する場としています。



地域貢献活動

KYC会では、チャリティーバザーやボランティア活動を通して、地域に貢献する活動を企画し実施しています。



視察旅行

国内外への視察旅行を通して、経営者としての視野を広げたり、経験を養う機会として会員で企画し実施しています。



鹿信役職員との交流

鹿児島信用金庫の役職員との定期的な交流会、また講師として研修を行うなど積極的に交流を行っています。



新たに21名の新入職員が入庫しました！ 皆さま宜しくお願いいたします！

かしの New Face



■ 入庫式

2024年4月に21名の新入職員が入庫しました。入庫式を迎えて、新入職員は、信用金庫職員としての役割や基本的な知識や技術等を研修で学びます。その後、各支店へ配属され、それぞれ新たなスタートを迎えます。

期待と不安のなか、初めての信用金庫での仕事になりますが、一日でも早くお客様のお力になれるよう、明るく元気に頑張りますので、皆さま応援しくお願いいたします。

新入職員に聞きました！



国分支店
小牧 拓也さん
鹿児島県立短期大学 卒業

Q・鹿児島信用金庫を選んだきっかけは？

私は自分が生まれ育った地元が好きで、私を育ててくれた地元に恩返しをしたいと思っており、鹿児島信用金庫は地域密着型で利益よりも地域との繋がりを大切に、地域発展に貢献している所に魅力を感じ、入庫しようと思いました。

Q・入庫する前と後でギャップはありましたか？

金融機関なのでもっと堅苦しいものかと思っていましたが、上司や先輩方、お客さんとの距離も近くアットホームな雰囲気でも働やすい環境です。

Q・将来どんな職員として活躍していきたいですか？

これから金融の知識であったり、金融以外の幅広い知識を仕事の中での経験を通して身につけていき、お客様に信頼され、お客様の抱えているそれぞれの課題など親身になって相談に乗り、お客様にとっての良い提案をできるような職員になりたいです。



国分支店
末松 夕佳さん
龍桜高等学校 卒業

高校3年生の5月に鹿児島信用金庫でインターンシップをさせてもらい、金融業界に興味を持ちました。かしんについて調べていくと、福利厚生がしっかりしているところ、転勤が県内本土のみであり、働きやすい環境が整っていたため、かしんで働きたいと思いました。

入庫して1ヶ月、営業店に来て1週間しか経っていませんが、とても楽しく働いています。まだギャップを感じることはないですが、どんな状況でも対応できるようにしたいです。

お客様と共に働く職員の方から信頼されるような職員になりたいです。インターンシップでご指導してくださった方々を目標にお客様のお役に立てる職員を目指していきたいです。

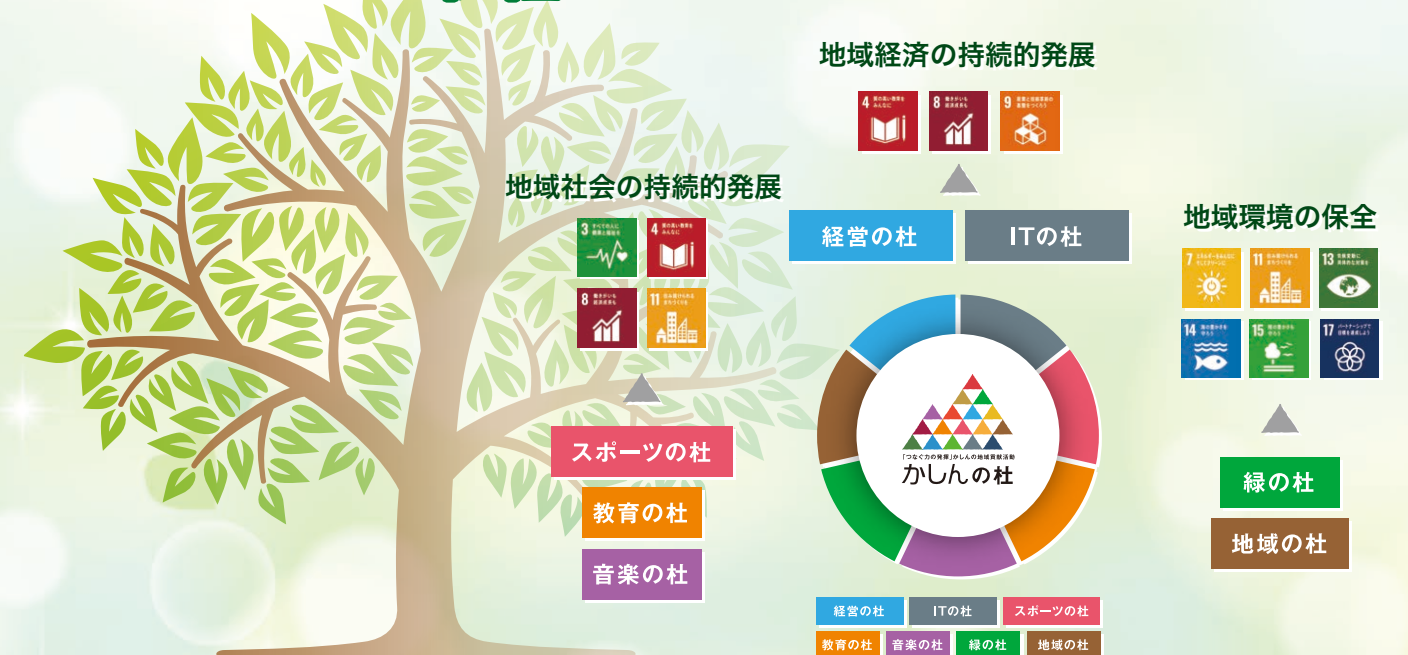
かしのインターンシップ

当金庫では、昨年度初めて高校生を対象にインターンシップを実施しました。今回は、始良市にある龍桜高等学校より2名の生徒さんを上町支店にて受け入れ、実際の業務を通じて職場体験していただきました。

当金庫では、インターンシップやアルムナイ募集など、時代の流れに合わせた人材確保に向けて、多くの取組を今後行っていく予定です。より当金庫への興味や理解を深めていただく機会の創出へ取組んでまいります。

「かしの杜」とSDGs

「かしの杜」事業とSDGsへの取組み



女性が安心して活躍できる職場を目指しています

女性活躍推進における取組み

平成28年4月以降、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）に基づき、女性職員の個性と能力が十分に発揮できるようにするため様々な取組みを行っています。

当金庫の女性職員の割合は4割を超えており、育児休業の取得促進や時間外労働の削減、時間単位有給休暇の取得、女性職員の管理職への積極的登用など、性別に関係なく活躍できる環境の整備に取組んでいます。

そうした推進活動のなか、厚生労働省子育てサポート企業である、くるみ認定や令和3年度女性活躍推進優良企業知事表彰を受賞しました。

当金庫は、女性活躍推進により高い水準で取組みプラチナくるみ認定を目指すなど、今後も積極的に女性が職場で活躍また安心して働けるよう体制を強化してまいります。



■ 令和3年度女性活躍推進優良企業知事表彰

女性営業のキャリアアップ

当金庫は、職員約400名のうち女性職員が4割を占めています。女性職員の成長・活躍は、将来の金庫の発展に寄与すると期待するところです。

また、女性職員の女性ならではのやさしさや親しみやすさを活かした顧客対応は、顧客の多様なニーズへの対応や、新たなサービスへの提供に繋がるとともに、女性職員自身が幅広い業務を経験することで、女性役員の育成と管理職登用の下地も作ることに繋がります。さらに、後輩のキャリアモデルとなることで全員営業への意識改革の糸口ともなります。

今後はさらに、女性職員の「女性職域の拡大」「人事ローテーションによる能力開発」をすすめ、多様化するニーズ、資産形成に対応した総合金融サービス提供を目指し、高度化を図ることを目的として、「女性営業制度（女性キャリアアッププログラム）」にも取組んでまいります。



第14回かしんカップサッカー大会

鹿児島信用金庫主催によるサッカー大会が、令和6年3月9日(土)、10日(日)に県立吹上浜海浜公園において開催されました。

本大会は、サッカーを通して、各チーム相互の親睦と参加選手の健全育成を図り、あわせてサッカーの普及ならびに技術の向上を目的として行われております。本大会には、32チームが参加。6年生にとっては小学生最後の大会ということもあり、日頃の練習の成果がいかんなく発揮され子供達のはつらつとした元気のあるプレーが随所に見られました。

また、初めての試みとして、鹿児島ユナイテッドFCのスクールコーチによる「サッカー教室」も実施し、ミニゲームなどで交流を図りました。



第9回かしん旗少年剣道大会

鹿児島信用金庫主催によるかしん旗をかけて少年剣道大会が、令和5年11月12日(日)に、日置市伊集院総合体育館にて開催されました。

本大会は、剣道を修行する小学生の気力・体力・技術の向上を図るとともに相互の親睦を深め、将来の郷土を担う青少年の健全育成を目的として開催しているものです。

小学生を対象にしており、今回もたくさんの少年剣士が集い、日頃の練習の成果をいかんなく発揮し、子供たちのはつらつとした元気のある試合が繰り広げられました。

鹿児島信用金庫は、大会を通じて各チームの親睦と子供たちの健全育成の一助となるよう今後も応援してまいります。



第6回かしん旗争奪少年ソフトボール大会

鹿児島信用金庫の主催による第6回大会が、令和5年12月24日(日)、鹿児島市郡山総合運動場において開催されました。

本大会は、地域貢献活動として当金庫が推進する「かしんの杜」事業の一つで、ソフトボールを通して選手の技術向上を図り、選手および育成指導者の親睦を深めるとともに将来の郷土を担う青少年の健全育成を目的としております。

小学生のスポーツ少年団を対象に32チーム、約640名の選手が集い、子供たちのはつらつとした元気のある試合が繰り広げられました。

また、試合の合間には、特別ゲストとしてお招きした日本女子ソフトボールリーグ所属の「MORI ALL WAVE KANOYA」(モリ・オール・ウェーブ・カノヤ)の選手と子どもたちが一緒にノックやピッチング披露などで交流を深めました。



かしんの杜
Kashin no mori

かしんの地域貢献活動

かしんチャレンジマーケット

鹿児島信用金庫では、「かしん経営の杜」事業として毎年かしんチャレンジマーケットを開催しています。

当金庫のお取引先さまの、企業や商品・サービスをPR販売する場としてはもちろん、市場調査や社員の教育の場としてもご参加いただいています。

今年度は、鹿児島中央駅アミュ広場。そして、初めてセンテラス天文館でも開催し、かしん吹奏楽部が初参加。地域貢献としての活動も行いました。

令和7年度も計画しており、本事業を通して地域経済の発展また地域貢献活動を充実させていきたいと考えています。当金庫のお取引先さまであればどなたでも参加可能ですので、是非ご参加ください。



■ アミュ広場



■ センテラス天文館にて初開催



■ アミュ広場での開催の様子



■ かしん吹奏楽部の演奏

かしん自然ふれあい教室

令和5年10月29日(日)に、枕崎市美山町にありますNPO法人自然花(じねんか)様ご協力のもと「かしん自然ふれあい教室」を開催。親子合わせて39名とたくさんの方にご参加いただきました。

当日は、芋ほりやピザ作りを体験し、自分たちでつくったピザを美味しくいただきました。その後、ツリーハウスやフィールドアスレチックで体を動かしたり、トロのキーホルダー作りをしました。最後は、里山散策を行い、親も子供も全身で自然を楽しむことができました。

こうした農業体験や自然体験をする機会を親子で参加して楽しめたことは、子供の健全育成と親子の絆をより一層深めていただく有意義な時間になったことと思います。



子ども信用金庫

令和5年8月3日(木)に、当金庫高見馬場支店(かしんアイホールビル6F)にて～親子で学ぼう夏休み「かしんこども信用金庫」～を開催しました。

「かしん教育の杜」事業の一環として、夏休みを利用して小学生の皆さまにお金について学んでいただくために取組んでいる事業です。

当日は、48名にご参加いただき、お金やものの大切さや価値、キャッシュレスについてのセミナーや、体験学習としてお金の数え方、また実際の窓口の機器を操作するなど、参加した子どもたちも楽しみながらお金について学んでいました。



組織が新しくなりました

課題解決型営業強化のための人材育成、ITを活用した業務効率化・デジタル戦略等を通じ、お客様、職員をはじめとする地域のすべての人の成長と幸福度向上のために行動し、お客様の課題解決への貢献、伴走的サポートをより強化することを目的に本部組織を一部変更いたしました。

1. 組織変更の概要

(1) 部署・グループの新設、名称の変更

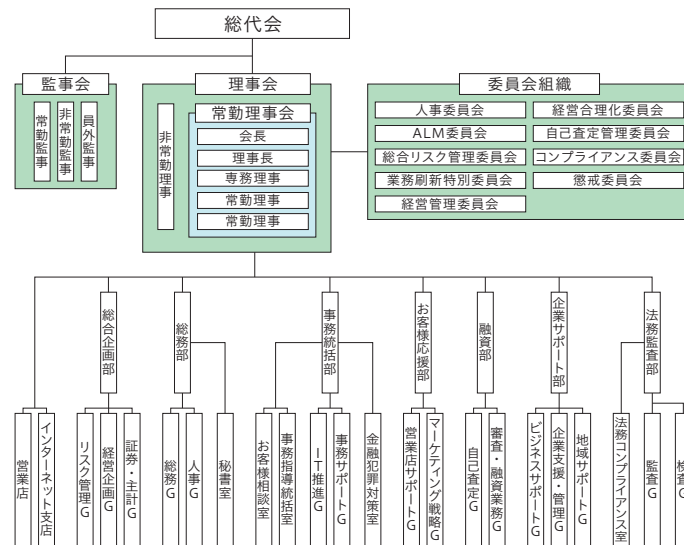
- ① お客様応援部
(マーケティング戦略G・営業店サポートG)を新設。
- ② 事務統括部(事務統括G・IT推進G)を新設。

(2) 名称の変更

- ① 監査部を法務監査部へ変更。

(3) 部署の再編・廃止

- ① 経営管理部を廃止し、自己査定G、法務コンプライアンス・お客様相談室、リスク管理Gを融資部・法務監査部・事務統括部・総合企画部へ再編。
- ② 業務統括部を廃止し、業務企画G、業務Gをお客様応援部・事務統括部・企業サポート部へ再編。
- ③ 営業統括部を廃止し、お客様応援部へ再編。
- ④ 総合企画部(経営企画G(システム))を事務統括部(IT推進G)へ再編。



SDGsへの取り組み ビジネスカジュアルを正式導入

鹿児島信用金庫では、SDGsの目指す「持続可能な社会の実現」の達成に向けて、「かしの杜」事業を通した取り組みや社会貢献活動を積極的に展開することで、地域経済・社会・環境等の諸課題の解決に取組み、持続可能な地域の実現に努めています。

そこでSDGsの取組みとして、令和5年12月よりビジネスカジュアルの試行を実施してまいりましたが、この度正式導入することといたしました。気候変動への対応、職場の活性化及び働きやすい職場環境の整備、ジェンダー平等を目的として導入するものです。

当金庫は「かごしまCO2吸収量認証制度」の認証やかごしまどりの寄付金贈呈などSDGsの取組みを積極的に行っており、今後も多角的に推進していきます。



かしのインスタ& LINE

鹿児島信用金庫は、様々なソーシャルメディアを通して情報発信を行っています。

LINE (ライン) では、様々な「かしん」のキャンペーン情報や商品情報などを配信しています。登録者様限定のサービス情報も！

そして新たに、Instagramをはじめました。今後様々な企画を通して、当金庫の情報やイベント、地域貢献活動など発信していきたいと考えています。

是非「フォロー」&「友だち登録」をお願いします。



かしんレディース会

かしんレディース会は、働く場面での活躍を希望する全ての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる女性活躍の実現を応援するため、異業種交流によるキャリアアップとより輝きのある女性を目指すことを目的として発足した会です。

本会は、女性経営者をはじめとした多くの社会人女性で構成されており、事業内容は、キャリアアップのための研修やセミナー、講演会などを実施しています。また、女性ならではの交流会も開催しており、親睦を深めながら様々な繋がりを作るきっかけにもなっています。

コロナの影響で長らく開催できていませんでしたが、令和5年12月8日(金)には、かしんアイホールで「クリスマスパーティー」を開催し、素敵なお料理と吹奏楽部による演奏、マジックショーなど華やかな時間の中、多くの会員で交流を深めることができました。今後もかしんレディース会ならではの事業を行っていく予定です。



■ クリスマスパーティーの様子

かしんレディース会らしき溢れる招待状も♪



New Open!! 始良支店・鹿屋支店

令和3年9月13日(月)に始良支店、令和3年11月22日(月)に鹿屋支店を新しく開店いたしました。より快適で、より親しみやすい地域金融機関を目指して明るく営業中です。

新築開店した鹿屋支店には、当金庫が地域貢献を行う新しい仕掛けとして、新たなスペースを生み出しました。

「おおすみ杜のギャラリー」です。

コンセプトは"かしんと、つながる、夢がかなう"

屋内のギャラリースペースと、屋外の歩廊を活用したスペースを設け、地域に開かれたスペースとして、さまざまな展示やイベントでご利用いただけます。



■ 始良支店



■ 鹿屋支店



■ 始良支店ロビー



■ おおすみ杜のギャラリー



しんきん通帳アプリ

いつでもどこでもスマートに

鹿児島信用金庫では、お客さまご自身のスマートフォンで入出金明細や残高を確認できる「しんきん通帳アプリ」を提供しております。

充実した機能で利用者増加中!ご預金はもちろん保険や投資信託などの資産照会機能から通帳・キャッシュカードの紛失届、ご住所・電話番号の変更届もアプリで可能です。

紙通帳との併用も可能ですが、通帳レスならさらに便利にご利用いただけます。

まずは無料でインストールして、スマートな口座管理を是非ご体感ください。



iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



かしんへGO!! ビジネスコンテスト2024

鹿児島県内の地域の魅力や強みを活かしながら、
地域課題を解決する新しいビジネスプランを募集します!

鹿児島信用金庫では、創業・第2創業を目指している方や夢をお持ちの方を対象に、「かしんへGO!!ビジネスコンテスト2024」を実施し、創業準備から創業後まで伴走的支援を行います。鹿児島県内で、創業や第2創業をお考えの方、新たなビジネスに挑戦したい方、将来起業を目指している大学生などは非この機会に挑戦してください。

※募集概要の詳細は下記へお問い合わせいただくか、右記コードからご覧ください

お申込み・お問い合わせ

鹿児島信用金庫 企業サポート部 TEL.099-224-8401



かしんへGO!!
ビジネスコンテスト
2024



信用金庫× Bank Pay

全国の金融機関が参加する スマホ決済サービス「バンクペイ」

Bank Pay (バンクペイ)は、全国の金融機関が加盟する日本電子決済推進機構が運営するスマホ決済サービスです。

Bank Payとは

スマホ決済ならBank Pay!

目的に合わせてお支払い口座が選べて、お買いものがより便利に!

・いつもの預金口座が選べて使える ・チャージ不要(口座から即時引き落とし)
・全国の金融機関が参加する安心の決済サービス ・使えるお店はいろいろ!

Bank Payことら送金とは

Bank Payアプリ一つで10万円以下の送金ができるサービスです。

Bank Payアプリで登録した金融機関口座からご家族やご友人の口座に送金できます。



Bank Pay(バンクペイ)
の詳細やダウンロード
はこちらから。



かしんへGO!!

出張よろず経営相談窓口

鹿児島信用金庫では、お取引先さまへの伴走的サポートの1つとして、「鹿児島県よろず支援拠点」と連携して無料の経営相談窓口「かしんへGO !!」を実施しています。

個人事業主・小規模事業者・中小企業の皆さまのあらゆる経営課題の解決を目指し、各支援機関と連携を図りながら現役のスペシャリストに無料で個別にご相談いただけます。これまで各本支店の16会場(34支店)で実施し、売上拡大、販路開拓、IT活用など90名から88件と、たくさんのお取引先さまにご相談いただき高評価をいただいています。

「かしんへGO!!」は定期的に開催中です。個別相談には、事前予約が必要となります。

詳しくは各本支店へお問い合わせください。



かしんでも「Payどん」

鹿児島信用金庫でも利用可能に

県内4行庫が協力して取り組む“Payどん”事業は、キャッシュレス決済のさらなる普及を図り、地域内における資金循環を促進することを目的としています。

鹿児島信用金庫もこの目的に賛同し事業に参画いたしました。地域経済の活性化を願い、当金庫の口座を連携するユーザーや加盟店をサポートしてまいります。

ご利用や加盟につきましては、かしん窓口までお気軽にお問い合わせください。



しんきんコネクト

信用金庫業界のネットワークを活用したビジネスマッチングサイト

「しんきんコネクト」は、信金中央金庫が運営する全国の信用金庫のネットワークを活用した、信用金庫のお客様のためのビジネスマッチングサイトです。

日本全国に広がる信用金庫は、約7,200店舗のネットワークを形成し、900万人を超える会員を擁しています。地域密着の信用金庫だからこそ知っているマッチング情報が多数掲載されています。全国の信用金庫のお客様だけでなく、大手バイヤーたちが参加する「しんきんコネクト」で、是非素敵なビジネスパートナーを見つけてください!

しんきん コネクトの特徴

- 01・安心と信頼
- 02・全国に広がる信用金庫のネットワーク
- 03・地域密着型のサポート体制

「しんきんコネクト」で検索!ご興味のある方は、当金庫へ是非ご相談ください。